

## 3月議会を振り返って

市議会3月定例会では、修正された2議案を含め、市長提案の条例案など計34件を全て可決いただきました。

女性の社会参加を促進するため、女性らが意見交換する現代版戸端会議を助成(11ヵ所、各13万円)する男女共同参画推進助成金(計143万円)は、「目的が理解しがたく、効果も定かでない」などを理由に予算案から削除されました。また、施設稼働率を高める観点から貸館業務も可とした市立総合教育センター条例案は、本来の教育研修業務に限定すべきとして貸館業務に係る条文が削除されました。

さて、私は、これまで計32回の市議会を開催、延べ634件の議案を提案し、その92.3%に当たる585件を可決承認いただき、14件(2.2%)については修正可決いただきました。残り35件(5.5%)の議案は残念ながら否決されましたが、これは開発調整条例案や住民投票条例案などを再三上程したもので、実質8議案ほどが繰り返し否決された格好です。

これは、当該条例案に対する市長と議会の考え方が基本的に異なるための意見対立と認識しています。近々の選挙で選ばれる新しい議員と市長のもとで、加西市の未来を切り拓く建設的な議論がなされることを期待しています。

(市長)

### ■賛否が分かれた主な議案の採決結果(3/28)

議案 議員名	男女共同参画推進 助成金(修正案)	市立総合教育セン ター条例(修正案)
井上智章	×	○
別府直	×	○
丸岡弘満	×	○
小谷安富	出席停止	出席停止
繁田基	○	○
土本昌幸	○	○
森元清蔵	議長	議長
黒田秀一	○	○
吉田稔	○	○
高橋佐代子	○	○
森田博美	○	○
井上芳弘	×	○
西川正一	×	×
山下光昭	×	○
三宅利弘	×	○
桜井光男	○	○
高見忍	○	○
後藤千明	○	×
<b>採決結果</b>	<b>可決</b> (賛成9、反対7)	<b>可決</b> (賛成14、反対2)

議席順で敬称略。○は賛成、×は反対を表しています。

## これからの加西市 漸く大型投資ができる財政状態に

市長就任以来、私は市民負担の軽減と市民サービスの向上のために改革を進めてきました。市民の皆様や議員各位のご理解をいただき、お陰様で来月の任期満了時点では市税収入の約2年半分を上回る155億円もの財政効果(市民1人当たり32万円)を上げることができている見込みです。これまでは、新規事業を実施するにも先ず過去の膨大な債務を減らし、国の定めた基準である実質公債費比率を18%以下とすることが不可欠でした。職員一丸となって取り組んだ結果、財政健全化も進み、来年度から起債制限が解かれる見込みで、漸く大型公共投資ができる財政状況になりました。

市全体では毎年30億円程度の公共事業をしても、10年後の債務残高を市長就任時(656億円)の半分にできる道筋がつかまりましたので、長年後回しにされてきた学校建て替えや子育て環境の整備などをハード・ソフト両面で充実させていきます。また、市民生活に身近な道路修繕、防犯灯設置、学校修繕については、これまでの立ち遅れを取り戻すべく、22年度後半より積極的に対応しています。23年度の当初予算でも道路関係予算は例年の1.5倍の水準に増額しています。

2次にわたる改革マニフェストは大半を達成、加西東・南各産業団地はほぼ満杯、三洋電機最新鋭工場の竣工、イオンやコーナンの開業、そして市立加西病院の医師数の増加と経営健全化へ大きく歩み始めたことなど、相当の成果を上げたと自負しています。しかし、これで満足し立ち止まることなく、このチャンスと勢いをさらなる加西市の発展に繋げます。これからが正念場です。

大きな市役所が最早不可能であることは誰の目にも明らかです。人口減少に対しては、市行政のあり方や市民との役割分担を見直し、市民参画と官民連携の手法によって小さな市役所を進めつつ、人口増対策に取り組みます。そのために、ハイレベルな教育の実現、医療福祉の充実、公共交通・幹線網等の社会インフラの充実など、「住みよいまちづくり」を総合的に進めていきます。

限られた財源の中で事務事業の優先順位を付けながら市民サービスを向上させ、市民満足度を高める一方、税収増と効率的な市役所経営に努めます。市民の皆様からの税金で運営されている市役所は、日々経営努力を重ね、市民のための改革は続行しなければなりません。

加西を「住みよいまち」「魅力的なまち」に変えて、できるだけ多くの方々に加西市内に住んでいただき、充実した市民生活を送っていただくには、首長の力量が求められます。高い志と使命感、公平公正で的確な判断力、広い視野と構想力、リーダーシップと実行力などに留まらず、確実に成果を出し、実績を残すことが求められます。

市役所業務以外にも数々の公務をこなしながら、これまで5年10ヶ月間、市長の激務をこなしてきました。今後も市民の皆様と手を携えてふるさと加西を元気にしていきたいと考えています。

(市長)

## 市内木造校舎の耐震診断結果の公表について

加西市は、平成22年度に市内の木造校舎3校(富田・宇仁・西在田小学校)の耐震診断を行い、23年3月24日に診断結果の数値が確定しました。診断結果は下表の通りです。

### ■耐震診断結果資料

施設名	現況 lw 値	補強後 lw 値 ※注(目標値1.25)
宇仁小学校東棟	0.23	1.28
宇仁小学校西棟	0.22	1.26
富田小学校東棟	0.28	1.26
富田小学校西棟	0.28	1.27
西在田小学校	0.32	1.37

※宇仁小と富田小は防火壁により棟が分かれます。

※lw値とは木造の構造耐震指標で、建物が地震に対して、強度で抵抗する数値。数値が大きいほど耐震性が優れています。

### ■耐震診断結果の概要

宇仁小学校の東棟はlw値0.23、西棟は0.22。富田小学校は0.28。西在田小学校は0.32で、全ての学校にお

いて倒壊する可能性が高いという結果が出ました。

lw値0.7未満は倒壊する可能性が高く、0.7以上1.0未満は倒壊する可能性があり、1.0以上1.5未満は一応倒壊しないことを示します。

宇仁小学校はlw値が0.7を大きく下回り、校舎敷地の西と東部分は盛土で地盤耐力が低く、校舎の一部が沈下しており、極端に多くの補強部材が必要で補強工事が相当高額となるため、改築(いわゆる建替)による耐震化を行います。

なお、当面の対策として、鉄筋の筋かい等により、万一地震の際にも校舎が完全に倒壊・損壊せずに生存空間が確保されるだけの仮補強を検討しています。

富田、西在田小学校については、耐震補強を進めますが、今後耐震補強の工法・費用等についても検討します。補強部分が非常に多く費用も高額となり、改築するほうがより安全、経済的かつ合理的であると判断される場合は、改築による耐震化も検討する考えです。

【問合せ先】 教育総務課 ☎428770 FAX431803 kyoiku@city.kasai.lg.jp

## 地震に備えた住まいの耐震化。地震防災マップを配付

加西市で想定される地震や建物被害の可能性を示した地震防災マップを作成し、広報かさい5月号とともに各家庭に配付しています。

平成7年の兵庫県南部地震で犠牲となった人の約8割が、建築物の倒壊等による圧迫死であり、その内の約9割が、現行の新耐震基準(昭和56年6月)より古い木造住宅であったと報告されています。地震の揺れの強さや、地盤の固さは変えることはできませんが、その上の建物を耐震化し、地震による被害を軽減することは可能です。

地震防災マップを参考に、住宅の耐震診断や耐震改修を行い、地震に備えた住まいの耐震化に努めましょう。

### ■簡易耐震診断事業

市が「簡易耐震診断員」を派遣し耐震性を調査します。

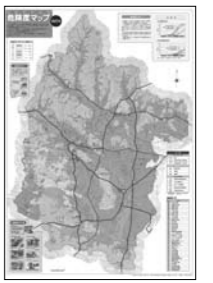
対象/昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅

個人負担額/3,000円(木造住宅の場合)

### ■わが家の耐震改修促進事業

耐震改修計画、耐震改修工事の実施に、計画作成に20万円、耐震改修工事に80万円を限度に、県が補助します。

対象/昭和56年5月31日以前に着工された住宅



地震防災マップ

【問合せ先】 都市計画課 ☎428753 FAX421998 toshi@city.kasai.lg.jp

## 子育て支援を充実。休日保育などを実施(4月から)

加西市は、働くお母さんらの子育て支援の一環として、休日保育と病後児・体調不良児保育を実施しています。現在、市内のどの保育園に入所されていても利用できます。

### ■休日保育の実施(多間保育園・尾崎町285)

日曜日・祝日に家庭で保育が受けられない児童が対象です。仕事などで保育ができないときにご利用ください。

### ■病後児・体調不良児保育の実施(富田保育所・窪田町3)

病気の回復期で症状が治まり他の児童への感染力が無くなった児童や、体調不良の児童が対象です。対象児童の保育は専用室で行います。



【問合せ先】 こども未来課 ☎428726 FAX431801 kodomo@city.kasai.lg.jp